

2025年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	ミクロ経済学特別研究
担当教員名	森 統
科目 目 の テ ー マ	ミクロ経済学が扱う主要な項目として、消費者行動の理論、企業行動の理論、市場均衡、市場の失敗、不完全競争の理論、ゲーム理論による分析、非対称情報の経済理論、社会選択の理論などをあげることができる。 これらの中から、受講者の関心や論文作成に伴う知識の必要性を考慮し、重点的に取り上げる題材を決める。選んだ項目について基礎固めをするとともに、より発展的で新しい展開がなされている内容にも触れながら、問題の分析力を高めることを目指す。
科目 内 容 ・ 方 法 等	受講者の関心や知識の蓄積に基づき、取り上げるテキスト・文献を選ぶつもりである。授業においては、受講者がテキスト・文献の所定の箇所の内容に関する発表を行い、その理論の検討、発展・応用の可能性などを議論する。 学期末には、課題を与えレポートの提出を求める予定である。 テキスト(候補)・参考書 ・ 奥野正寛・鈴木興太郎『ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』岩波書店1985年1988年 ・ 林貴志『ミクロ経済学(増補版)』ミネルヴァ書房 2013 年 ・ Mas-Colell, Whinston, and Green, <i>Microeconomic Theory</i>, Oxford University Pr.,1995 ・ 内外の専門ジャーナルの論文なども適宜取り上げる。
評価方法及び評価基準： 授業において適宜課す課題(発表・レポート等)の出来栄に応じて評価する。課題を全体で100点を満点とする点数で評価し、60 点未満をF、60～69 点をC、70～79 点をB、80 点以上をA とする 4 段階 とし、C 以上の評価に単位を認定する。	